児童生徒・教職員アンケートの実施について　【資料4】

１　趣旨

　これまで実施した市民・保護者アンケートでは、今後の小中学校の在り方について、市民や保護者等から幅広い意見をいただいたところである。
　今後の検討に当たっては、学校生活の当事者である児童生徒及び教職員等の意見・実態を把握することも重要であることから、市内の児童生徒（小学４年生から中学３年生まで）及び教職員を対象として、アンケートを実施する。

２　対象者

	児童生徒	教職員
調査対象	市内小学校４年生～６年生、中学校１年生～３年生	市内小中学校に勤務する教職員等
調査者数	小学校４年生：104名 ５年生：106名 ６年生：　97名　307名 中学校１年生：100名 ２年生：111名 ３年生：100名　311名	教職員等：約190名
調査時期	令和８年10月下旬～11月上旬	
調査方法	WEBアンケートにより実施 ※各学校を通じて回答を依頼	
調査内容	・現在の学校生活について 「良いところ」「楽しいこと」「課題」など ・理想の学校について ・学校の規模や学級の人数について ・今後の学校の在り方について	・現在の学校の教育環境について ・現在の学校規模について ・小規模校における教育活動上のメリット・デメリットについて ・今後の学校の在り方について